



Mother Lake
Goals

変えよう、あなたと私から

滋賀県は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

6 安全な水とトイレ
を世界中に



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



資料

滋賀県企業庁経営戦略見直し（骨子案）

令和7年8月6日 第2回滋賀県企業庁経営戦略懇話会

- 令和7年 3月 第1回懇話会
- 8月 第2回懇話会（骨子案提示）
- 10月 常任委員会（骨子案提示）
- 11月 第3回懇話会（素案提示）
- 12月 常任委員会（素案提示）、
県民政策コメントの実施、
受水市町および受水企業への意見照会
- 令和8年 2月 第4回懇話会（最終案提示）
- 3月 常任委員会（最終案報告）

【安全】 **【強靱】** **【持続】**

【横断的取組】 個別的取組において横断的に関係し、あらゆる場面で重要な要素となる取組

○ リスクコミュニケーション

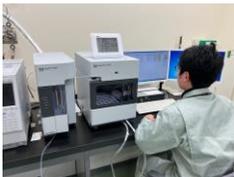
- ・ 水質変化、災害、事故などのリスクについて受水市町、受水企業、県、国および関係地域等との平時・有事における情報交換・共有等による連携強化

<具体例>

- ・ 受水市町担当者会議などを通じた意見交換、情報共有
- ・ 地下占用物連絡会議をはじめとした国、県、受水市町等との施設の点検結果の情報提供・共有
- ・ 水質検査結果・異臭味対策などにおける迅速な情報発信
- ・ 施設見学や出前講座の実施



受水市町担当者会議



水質検査結果の企業庁ホームページでの公表



合同訓練



出前講座

○ DX活用・推進

- ・ 業務効率化、迅速・正確な危機管理対応などを図るため、DXを計画的に推進

<具体例>

- ・ AIを活用した浄水場の運転管理自動化による業務効率化の検討（浄水場の運転管理の高度化・自動化）
- ・ 災害時、緊急時の迅速な対応のため、リモートワークを可能とする設備操作システムの導入の検討（浄水場の運転管理の高度化・即応力の向上）
- ・ 空中・水中ドローン、水中ロボット等を活用した施設維持管理、点検の実施（施設維持管理の高度化）
- ・ 検針業務の効率化の検討

取組期間：令和8年度から令和10年度までの期間を想定

- 【R6】**
 - ・ 管路管理システムのクラウド化
 - ・ 施設台帳システムの共有サーバーへの掲載
 - ・ AIを活用した管路老朽度評価の実施
- 【R7】**
 - ・ DX推進導入計画の策定
- 【R8～10】**
 - ・ 導入計画に基づき検討、導入・取組の実施



水管橋点検への空中ドローンの活用



埋設管の老朽度確認へのDX活用の重要性
埼玉県八潮市の道路陥没事故（出典：埼玉県資料）

● 安定給水に向けた取組

【安全】

【用水・工水共通】

- ・ 取水源や浄水の定期的な監視
- ・ 地下占用物連絡会議をはじめとした国、県、受水市町等との施設の点検結果の情報提供・共有

【用水】

- ・ 受水市町担当者会議などを通じた意見交換、情報共有
- ・ 水質検査結果、異臭味対策などにおける迅速な情報発信
- ・ 浄水場運転管理の高度化・自動化・即応力の向上、施設維持管理の高度化

● 施設の更新・耐震化

【強靱】

【用水・工水共通】

- ・ 新たに見直したアセットマネジメント計画（計画期間：平成28年度から令和37年度）に基づく管路・設備の更新、浄水場等の老朽化・耐震対策の推進
- ・ 管路更新順位の見直しに資するAI技術の活用推進

【用水】

- ・ 施設の老朽化対策・耐震化対策の推進

【工水】

- ・ 受水企業の意見等を踏まえた施設等の耐震化手法や時期を検討



能登半島地震による被害状況（出典：国土交通省資料）

● 経営基盤の強化

【持続】

持続可能な事業運営のため、経営の基盤強化について、国の動向や市町の意見、他府県の事例等を参考に幅広く検討

- ・ 上下水道事業の連携
- ・ 広域化の推進
- ・ 民間活力の更なる導入

● 環境に配慮した取組

【持続】

【用水・工水共通】

- ・ 企業庁脱炭素ロードマップ（令和6年3月策定）に基づく取組の推進



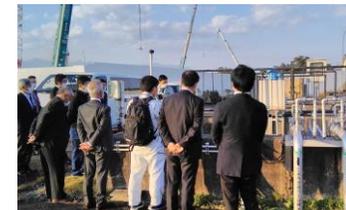
太陽光発電設備（PPA設置）

● 地域・社会への貢献

【持続】

【用水・工水共通】

- ・ 施設見学や出前講座の実施



施設見学

- ・ 県内大学や滋賀県立高等専門学校（令和10年4月開校予定）との連携

1. 見直しの趣旨等

趣旨 現戦略は令和3年度から令和12年度までの10年間を計画期間としており、その中間年を迎え、水道事業を取り巻く環境が厳しさを増す中、これまでの取組と実績等を踏まえつつ、後半5年間の見直しを行うもの

対象期間 令和8年度から令和12年度 5年間

2. 基本理念・基本目標

基本目標

【安全】
安全で良質な水を安定して供給します

【強靱】
信頼を支える強靱なライフラインを構築します

【持続】
社会の変化に対応した持続可能な経営を推進します

基本理念

信頼の水で、地域の未来に貢献します

3. 前期目標指標の実績、評価

(1) 安全

取組項目	指標	単位	優位性	R3	R4	R5	R6	評価	【策定時】	
									R7 (目標)	R12 (目標)
水質管理の強化	水質基準適合率 (用水)	%	↑	100	100	100	100	◎	100	100
水質管理の強化	かび臭物質濃度水質基準比率年間平均値 (用水)	%	↑	96	96	96	96	◎	75	75
安全で安定した水の供給	苦情発生件数 (用水)	件	↓	97	84	8	0	▲	0	0
安全で安定した水の供給	苦情発生件数 (工水)	件	↓	0	4	0	0	◎	0	0

(2) 強靱

取組項目	指標	単位	優位性	R3	R4	R5	R6	評価	【策定時】	
									R7 (目標)	R12 (目標)
施設の計画的な更新 水道施設の耐震化	浄水施設の耐震対策の進捗 (用水)	箇所	↑	0	0	1	2	○	3	3
施設の計画的な更新 水道施設の耐震化	ポンプ場の耐震対策の進捗 (用水)	箇所	↑	6	6	6	6	◎	6	7
施設の計画的な更新 水道施設の耐震化	管路の耐震化率 (用水)	%	↑	39.1	40.7	42.0	43.3	◎	41.2	50.5
施設の計画的な更新 水道施設の耐震化	管路の耐震化率 (工水)	%	↑	15.2	15.2	15.7	15.7	◎	15.6	26.8
施設の浸水対策	浸水対策の進捗 (用水)	箇所	↑	0	4	6	6	◎	6	6
施設の浸水対策	浸水対策の進捗 (工水)	箇所	↑	0	0	1	4	◎	4	4

(3) 持続

取組項目	指標	単位	優位性	R3	R4	R5	R6	評価	【策定時】	
									R7 (目標)	R12 (目標)
健全経営の維持	経常収支比率 (用水)	%	↑	114.9	108.1	117.3	101.5	◎	100以上	100以上
健全経営の維持	給水収益に対する内部留保資金の割合 (用水)	%	↑	210.1	166.4	145.7	154.3	◎	100以上	100以上
健全経営の維持	経常収支比率 (工水)	%	↑	115.4	107.5	121.3	118.3	◎	100以上	100以上
健全経営の維持	給水収益に対する内部留保資金の割合 (工水)	%	↑	545.4	517.1	465.8	488.2	◎	100以上	100以上
地域経済活性化への貢献	県内産パレプの使用率 (共通)	%	↑	100	100	100	100	◎	100	100
人材育成と技術継承	若手水道技術職員の資格取得件数 (共通)	件	↑	4.6	4.3	4.2	4.6	◎	4.0	4.5
環境に配慮した取り組み	過去5年間のエネルギー使用原単位変化率対前年度比 (共通)	%	↓	-0.3	-0.6	0	0.8	○	-1	-1
環境に配慮した取り組み	浄水発生土の有効利用率 (共通)	%	↑	100	100	100	100	◎	100	100
地域、社会の理解促進	水道事業見学者の理解度 (共通)	%	↑	100	100	100	100	◎	90	90

(用水) ・早期にかび臭発生を検知し、適正な活性炭の注入を行う必要がある。
・異常時発生において、より効果的な情報提供方法の検討が必要である。

(工水) ・異常時発生において、受水企業に対する正確な情報提供を行う必要がある。

(共通) ・太陽光発電設備の設置などにより再生可能エネルギーの導入を図る必要がある。

4. 取組成果と後期目標達成に向けた取組

基本目標【安全】に紐づく個別的取組

現行【取組と成果】

水道水源への対応

- ・環境動向の把握と対応
水源調査・水質検査の実施
水質情報等の県関係部局、市町と共有
PFASに関する情報収集の実施

- ・森林保全活動の実施
琵琶湖森林パートナー協定事業の実施

水質管理の強化

- ・水道GLPを規範とした信頼性の確保
水道GLPの更新
水道事業者との水質検査業務に関する協定の締結

安全で安定した水の供給

- ・水安全計画による安全な水の供給
水安全計画に基づく検討チームによるPFOS、PFOA管理目標値の設定
- ・施設、管路の適切な維持管理
適切な施設・管路パトロール
- ・異臭味への対策強化
高性能粉末活性炭への変更
薬品の適正な注入

社会情勢・環境の変化、課題など

- ・災害時等における水を供給し続けるレジリエンスの高い事業運営の要請



給水車による給水活動



水質検査

- ・PFAS対策をはじめとする受水市町との一体的な取組の重要性
- ・PFASの水質基準への引上げ
- ・異常時におけるより効果的な情報提供方法の検討の必要性
- ・施設維持管理におけるAIやドローンの活用的重要性



埼玉県八潮市の道路陥没事故（出典：埼玉県資料）

見直し後【取組の方向性】

水道水源への対応

- 国、県、市町等と連携し、取水源および浄水の定期的な監視を通じた水質情報の収集・共有

水質管理の強化

- 水質検査結果、異臭味対策などにおける迅速な情報発信
- 浄水場運転管理の高度化・自動化・即応力の向上

安全で安定した水の供給

- 受水市町担当者会議などを通じた意見交換、情報共有
- 地下占用物連絡会議をはじめとした国、県、市町等との施設点検結果の情報提供・共有
- 空中・水中ドローン、水中ロボット等を活用した施設維持管理の高度化



受水市町担当者会議



水管橋点検への空中ドローンの活用

4. 取組成果と後期目標達成に向けた取組

基本目標【強靱】に紐づく個別的取組

現行【取組と成果】

施設の計画的な更新

- ・アセットマネジメント計画（計画期間：平成28年度から令和37年度）の着実な実施

水道施設の耐震化

- ・浄水場等の耐震化
耐震機能を備えた吉川3系浄水場新設
- ・管路の耐震化
用水ポンプ場および管路耐震化の継続的な整備

施設の浸水対策

- ・施設の浸水対策
用水・工水ともに浸水対策を完了

バックアップ対策の充実

- ・非常用発電能力の強化

危機管理体制の強化

- ・危機管理マニュアルの充実
- ・事業継続計画（BCP）の充実
事業継続計画の改定
- ・原子力発電所事故への備え
- ・災害・事故時対応訓練の充実
各種防災訓練の実施
- ・応急給水資機材、復旧資機材の確保
応急復旧資機材の備蓄

社会情勢・環境の変化、課題など

- ・今後も多くの管路が法定耐用年数を経過することから、引き続き老朽化対策を行うことが重要



埼玉県八潮市の道路陥没事故（出典：埼玉県資料）

- ・災害時等における水を供給し続けるレジリエンスの高い事業運営の要請



能登半島地震による被害状況（出典：国土交通省資料）
左上：道路漏水 右上：取水口の損傷
左下：配管の損傷 右下：水管橋の漏水

見直し後【取組の方向性】

施設の計画的な更新

- 新たに見直したアセットマネジメント計画に基づく管路・設備の更新、浄水場等の老朽化・耐震対策の推進

水道施設の耐震化

- 水道施設（浄水場や管路など）の耐震化の推進

- 受水企業の意見等を踏まえた施設等の耐震化手法や時期を検討

施設の浸水対策

※令和6年度に移管された施設への浸水対策

バックアップ対策の充実

危機管理体制の強化

- 受水市町、受水企業、県、国および関係地域等との平時における情報交換・共有等の連携強化に基づく、危機管理マニュアルや事業継続計画（BCP）などによる有時的な対応力の向上

4. 取組成果と後期目標達成に向けた取組

基本目標【持続】に紐づく個別的取組

現行【取組と成果】

健全経営の維持

- ・利用しやすく適正な料金設定
工水料金の改定、内部留保資金の確保
- ・新規受水企業の開拓
受水企業の優遇制度の対象・金額拡充

経営の効率化の推進

- ・施設規模の適正化
- ・維持管理コストの削減
- ・新たな技術の導入・活用
- ・民間活力の更なる導入

地域経済の活性化への貢献

- ・県内事業者への受注機会の拡大と県内生産資材の利用促進

広域連携

- ・市町との連携・交流の充実
共同研修の実施

人材育成と技術継承

- ・技術の継承と人材確保
- ・効果的な人材育成

環境に配慮した取組

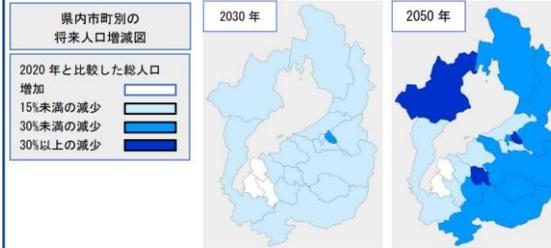
- ・エネルギー消費量の削減の取組
PPA方式の太陽光発電設備導入の検討
- ・リサイクルの推進など環境負荷の低減

地域、社会の理解促進

- ・積極的な情報提供
- ・地域や社会への貢献
コロナ後の浄水場見学受入の再開

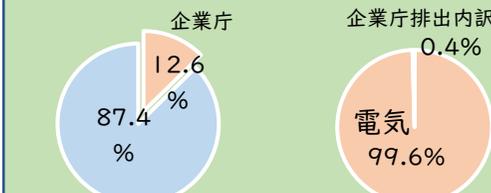
社会情勢・環境の変化、課題など

- ・人口減少に伴う事業の担い手となる人材不足や料金収入の減少により、施設の維持・管理が困難となるおそれ



出典：滋賀県人口ビジョン

- ・物価や資材の高騰による経費の増大
- ・地球温暖化をはじめとする気候変動への対応
- ・滋賀県庁関係部局全体の約8分の1を占める温室効果ガス排出事業者であることから、CO₂ネットゼロ社会づくりを推進する必要性



滋賀県部局全体に対する排出割合(温室効果ガス：R4)

見直し後【取組の方向性】

健全経営の維持

- 経営の効率化の推進
- ・施設規模の適正化
- ・維持管理コストの削減
- ・新たな技術の導入・活用

経営の効率化の推進

【横断的取組】
DX活用・推進

民間活力の更なる導入

広域化の推進

経営基盤の強化

上下水道事業の連携

地域経済の活性化への貢献

人材育成と技術継承

環境に配慮した取組

- 企業庁脱炭素ロードマップ（令和6年3月策定）に基づく取組の推進

地域、社会への貢献

- 施設見学や出前講座の実施
- 県内大学や滋賀県立高等専門学校（令和10年4月開校予定）との連携

4. 取組成果と後期目標達成に向けた取組

【安全】 【強靱】 【持続】 に紐づく横断的取組

現状

社会情勢・環境の変化、課題など

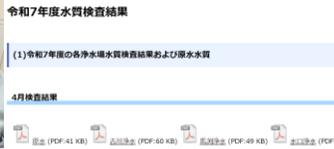
見直し後【取組の方向性】

- 日本水道協会実施の合同訓練等への参加



合同訓練

- 企業庁ホームページによる情報発信



水質検査結果の企業庁ホームページでの公表

- 浄水場見学や出前講座の実施

- 人口減少や節水等に伴う水需要減少による料金収入の減少

- 施設等の老朽化に伴う更新費用の増加

- 年齢構成に偏りがあるため、技術の継承と人材育成が急務

- 災害、事故時の迅速な対応の要請

- 災害時等における水を供給し続けるレジリエンスの高い事業運営の要請

- PFAS対策、水道施設の老朽化対策をはじめとする受水市町における突発的なリスクの防止、発生時の対応に備える一体的な取組の重要性

- 様々なリスクに対応するため、限られた資源を活用して個別取組の質を高める必要性

- 業務効率化の必要性

- AIやドローンの活用の重要性

リスクコミュニケーション

- 水質変化、災害、事故などのリスクについて受水市町、受水企業、県、国および関係地域等との平時・有事における情報交換・共有等による連携強化



受水市町担当者会議



出前講座

DX活用・推進

- 業務効率化、迅速・正確な危機管理対応などを図るため、DXを計画的に推進



水管橋点検への空中ドローンの活用



埋設管の老朽度確認へのDX活用の重要性
埼玉県八潮市の道路陥没事故（出典：埼玉県資料）

5. 投資・財政計画

基本的な考え方

- ・ 自然災害や老朽化に対応するため、「アセットマネジメント計画」による施設整備事業を行い、施設の強靱化を図る
- ・ 効率的な経営および適正な料金設定により財政基盤を強化し、経営を安定的に継続する

(1) 水道用水供給事業

①投資計画（建設改良費）（単位：百万円）

年度	R3	R4	R5	R6
計画	8,434	6,869	2,981	3,331
実績	5,872	5,862	4,694	2,046

②財政計画

・ 水量

（単位：m³/日）

年度	R3	R4	R5	R6	
基本水量	計画	179,090	179,090	179,090	179,090
	実績	179,282	180,590	180,590	180,590
使用水量	計画	130,215	130,215	130,215	130,215
	実績	132,537	129,981	127,505	128,862

・ 料金

基本料金の料率	基本水量 1 m ³ につき月額	1,270円
使用料金の料率	使用水量 1 m ³ につき	29円20銭

(2) 工業用水供給事業

【彦根】

①投資計画（建設改良費）（単位：百万円）

年度	R3	R4	R5	R6
計画	502	247	51	115
実績	468	138	142	36

②財政計画

・ 水量

（単位：m³/日）

年度	R3	R4	R5	R6	
基本水量	計画	24,570	24,570	24,570	24,570
	実績	24,570	24,754	24,886	24,886
使用水量	計画	17,509	17,509	17,509	17,509
	実績	17,234	17,127	17,509	17,545

・ 料金(R5改定)

基本料金の料率	基本水量 1 m ³ につき月額	15円
使用料金の料率	使用水量 1 m ³ につき	3円60銭

【南部】

①投資計画（建設改良費）（単位：百万円）

年度	R3	R4	R5	R6
計画	461	489	392	821
実績	361	251	732	405

②財政計画

・ 水量

（単位：m³/日）

年度	R3	R4	R5	R6	
基本水量	計画	54,384	54,384	54,884	54,884
	実績	54,448	54,417	54,811	55,194
使用水量	計画	32,897	32,897	33,200	33,200
	実績	35,037	33,488	32,689	32,739

・ 料金

基本料金の料率	基本水量 1 m ³ につき月額	34円70銭
使用料金の料率	使用水量 1 m ³ につき	8円

基本的な考え方に基づき、実績値を基礎資料として、将来の給水量、施設・設備等の老朽化状況、資材の高騰などを加味し、新たに見直した「アセットマネジメント計画」を反映し、令和8年度から令和12年度までの5年間を試算

各事業ごとの試算を、戦略見直し（素案）に反映

※11, 12スライド参照

6. 計画の推進

- ・ 毎年度、目標指標の達成度等について、PDCAサイクルに基づき評価

アセットマネジメント計画（湖南水道用水供給事業）見直し案

当初計画

計画期間 平成28年度～令和37年度
 建設改良費 1,070億円
 内訳 構造物 110億円 設備 420億円 管路 540億円
 ◆構造物
 吉川浄水場に30,000 m³/日の耐震対応浄水場新設
 馬淵・水口浄水場の耐震化
 ◆設備・管路
 更新基準年数を設定して老朽化施設を更新



- ◎ 物価高騰
- ◎ 工程見直し
- ◎ 新たな施設の位置づけ

見直し後

計画期間 変更なし
 建設改良費 1,367億円
 内訳 構造物 129億円 設備 535億円 管路 703億円
 ◆構造物
 吉川浄水場に30,000 m³/日の耐震対応浄水場新設
 馬淵・水口浄水場の耐震化
 ⇒事業工期見直し
 ◆設備・管路
 ⇒物価高騰による工事費の見直し
 ⇒AIを使った管路老朽度再評価に基づく更新順位の再設定
 ⇒セキュリティ、自家発電設備、湖南省移管施設の維持管理、修繕が困難な施設等を計画に位置づけ

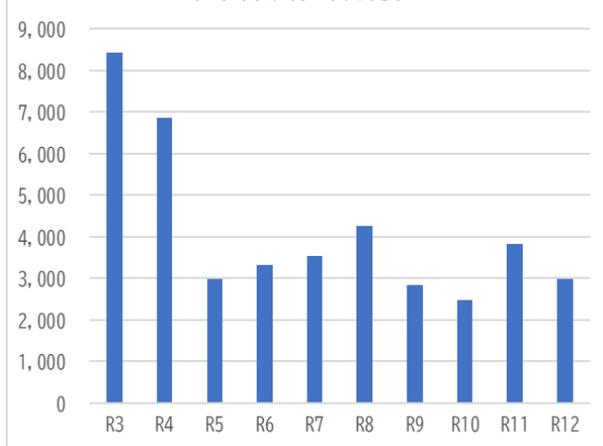
湖南水道用水供給事業の投資計画について

水道用水供給事業 建設改良費

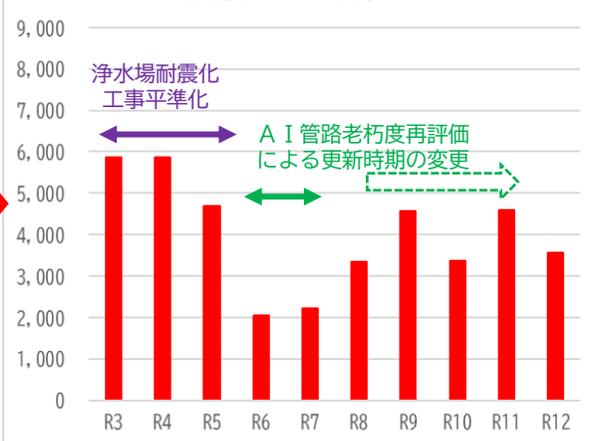
(百万円)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	合計
経営戦略（現行）	8,434	6,869	2,981	3,331	3,541	4,263	2,851	2,490	3,842	2,984	41,586
実績および見直し	5,872	5,862	4,693	2,046	2,217	3,346	4,566	3,360	4,595	3,564	40,121

経営戦略（現行）



実績および見直し



<主要事業>

- ・吉川浄水場耐震対策工事 (R3~R4) 8,096百万円
 ⇒ (R3~R5) 8,159百万円
- ・管路更新工事 (R3~R12) 15,394百万円
 ⇒ 12,984百万円
- ・浸水対策工事 (R3~R4) 400百万円
 ⇒ 323百万円

アセットマネジメント計画（彦根・南部工業用水道事業）見直し案

当初計画

計画期間 平成28年度～令和37年度
 【彦根工水】建設改良費 50億円
 内訳 構造物 0億円 設備 20億円 管路 30億円
 【南部工水】建設改良費 280億円
 内訳 構造物 50億円 設備 85億円 管路 145億円
 ◆構造物〔南部〕
 浄水場耐震化を土木構造物と併せR15以降に実施
 送水ポンプ施設は用水耐震化に併せて実施
 ◆設備・管路〔南部・彦根〕
 更新基準年数を設定して老朽化施設を更新

見直し後

計画期間 変更なし
 【彦根工水】建設改良費 77億円
 内訳 構造物 0億円 設備 21億円 管路 56億円
 【南部工水】建設改良費 472億円
 内訳 構造物 51億円 設備 89億円 管路 332億円
 ◆構造物〔南部〕
 浄水場耐震化を土木構造物と併せR15以降に実施
 送水ポンプ施設耐震化をR15以降に実施
 ⇒事業工期見直し
 ◆設備・管路
 ⇒物価高騰による工事費の見直し〔南部・彦根〕
 ⇒AIを使った管路老朽度再評価に基づく更新順位の再設定〔南部・彦根〕
 ⇒新規受水



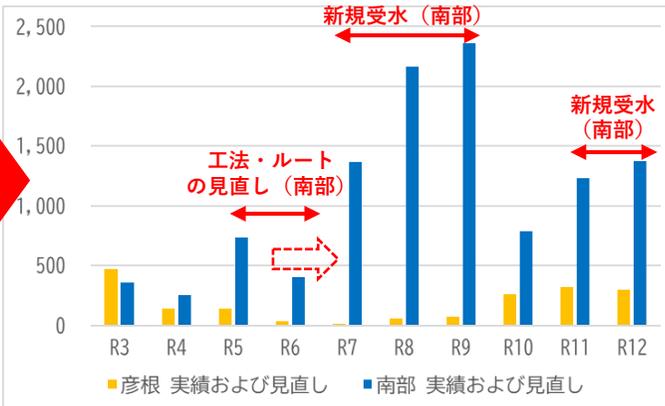
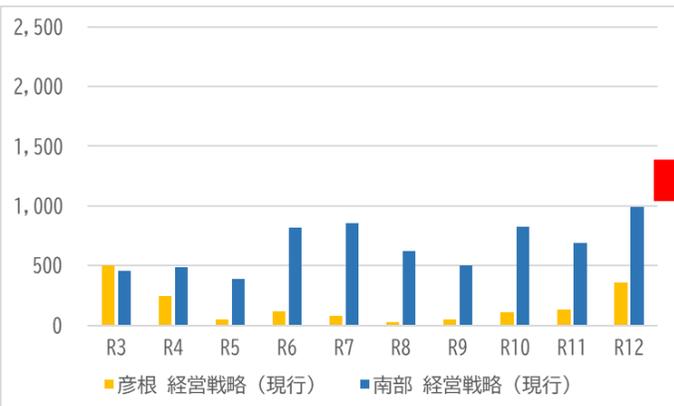
- ◎ 物価高騰
- ◎ 工程見直し
- ◎ 新規受水

工業用水道事業の投資計画について

工業用水道事業（彦根・南部） 建設改良費

(百万円)

		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	合計
彦根	経営戦略（現行）	502	247	51	115	80	31	51	114	137	361	1,689
彦根	実績および見直し	468	138	142	36	10	55	69	258	321	298	1,795
南部	経営戦略（現行）	461	489	392	821	855	622	499	824	687	992	6,642
南部	実績および見直し	361	251	732	405	1,367	2,166	2,359	786	1,233	1,377	11,037



<主要事業>

- (彦根)
- ・管路更新工事 (R3～R12) 637百万円 → 895百万円
 - ・浸水対策工事 (R3～R5) 75百万円 → (R3～R6) 39百万円
- (南部)
- ・管路更新工事 (R3～R12) 3,008百万円 → 6,420百万円
 - ・浸水対策工事 (R3～R5) 145百万円 → 27百万円